

古代都市メッセネのスタディオン地区調査報告(3) 墓廟Iの復元試案

正会員 伊藤 重剛

メッセネ、古代建築、家型墓、復元

1. はじめに

熊本大学で調査を行っているメッセネのスタディオン地区には、プロピロンを入った右手に3基の家型墓が並んで建てられている。本稿では、これらの墓群の都市内での立地について考察を加え、そのうちの墓廟Iについて、現状の簡単な報告と外観の復元について考察を加える。¹⁾

2. メッセネの墓廟群の立地

通常の古代都市の場合、墓地は都市の城壁の外にあり、例えばアテネのケラマイコス通りのように、城門を出た街道の両側に墓地が広がっている場合が多い。しかしながら、メッセネでは、市内中心部のアスクレピオス神域に隣接する大通りにも家型墓が作られ、さらにこのスタディオンの入り口であるプロピロンのすぐ脇に、しかも3棟が並んで建てられている。勿論、都市内で発見された墓の数は数基程度で、殆どの墓は城壁外の墓地にあるのだろうが、都市内のしかも大勢の市民が往来する場所を特に選んで配置されているのは異例である。

3. 墓廟Iについて

墓廟Iは、スタディオンのプロピロンから右手に約5mの所に位置している。基壇上面のレベルで5.66m×3.80mの大きさで、南北に長い形をしている。正面である東側は3段から成る基壇があり、左右の壁が前方に0.71m突出し翼部として張り出し左右対称性を強調している。東側正面では、基壇の上に南側の翼部と中央部でスラブが5枚立ったまま、当初の状態出土している。西側基壇のやや北側に寄った部分に敷居の痕跡があり、入り口があった。内部は床下部分が南北に7枚の石のスラブで仕切られており、つまり、7つの石棺として作られている。石棺の幅は内法で0.50m、長さ1.93m、深さ0.63mで、この上に床スラブが載せられていたものと思われる。(図1)この石棺の中から、シカ狩りをする長さ1.25m高さ0.85mのライオンの像が出土した。

4. 墓廟Iの復元案

墓廟Iの上部構造の部材は何も発見されていない。隣接する墓廟IIは壁の直上にアーキトレーヴ_コーニス部材がのり、殆どの家型墓でも同様なので、恐らくこれと同じと類推できる。フェダックはヘレニズム時代の墓について詳細な研究をしているが²⁾、それによると家型墓のコーニスの上に載る屋根の形状は、1) 神殿のような傾斜屋根で正面は破風になるか、2) 小アジアの家型墓のように方形の屋根になるか、3) あるいは陸屋根となるか、などが主な

選択肢だろう。1) の案は墓廟Iの正面の両側に翼部がついており、このような場合には神殿のファサードとはならないことから、3) はヘレニズム時代の家型墓に陸屋根の例が殆どないことから否定されるだろう。2) の寄棟も例はないが、小アジアでよく見られるピラミッド型つまり方形の屋根の変化した形と考えると納得できる形であり、ハリカルナッソスのマウソレイオン(前350年頃)や、クニドスのライオン墓(前400年頃)を始めとして、類似の例が幾つか挙げられる。またこれらの墓廟にはライオンの彫刻が装飾として使われている点も、メッセネの墓廟Iと共通する点である。墓廟Iの内部から出土したライオン像は、その大きさや正面性の強い形から恐らくこれらの家型墓と同じく屋根を飾っていたと推定される。出土したライオンは左向きでシカの背中へのしかかる構図である。ライオンの彫刻は、ギリシアでは例えばコルフのアルテミス神殿(前6世紀初期)の破風の浮き彫りとしてメドゥーサを中心に左右対称に配置されたり、アテネのアクロポリスのアテナ古神殿(前6世紀中頃)の破風で、雄牛狩りをする左右対称のライオンとして表現されている。メッセネの墓廟Iについても左右対称の構図で復元し、中央にこの家族墓の先祖の人物像を配置してみた。(図2)

5. まとめ

- 1) 墓廟Iはスタディオンの入口のプロピロンのすぐ脇に立地して、なるべく人目の付くところを選んで配置された。
 - 2) 両端に翼部をもち、階段状の基壇にのった形式は、左右対称を強調したヘレニズム時代の設計手法を示している。
- 屋根については、階段状の寄棟の形式で、出土したシカを狩るライオンの彫刻が、左右対称の形に配置された可能性が高い。

謝辞 本研究は日本学術振興会科学研究費(基盤(A)(2)海外) 課題番号11691154による助成を受けました。記して謝意を表します。

注

- 1) 墓廟Iの現状については、九州支部で詳しい報告をしているのでそちらを参照されたい。岩淵耕平・伊藤重剛 他4名, 地中海古代都市の研究(101)メッセネの墓廟Iの調査1999 遺構の概要, 以上4編, 日本建築学会九州支部研究報告, 第39号3, 2000年3月, 509-512.
- 2) Fedak, J., *Monumental Tombs of the Hellenistic Age*, Toronto/ Buffalo/London, 1990

A Study of the Stadion Area in Ancient City of Messene (3): The Trial Reconstruction of the Grave Monument I

ITO Juko

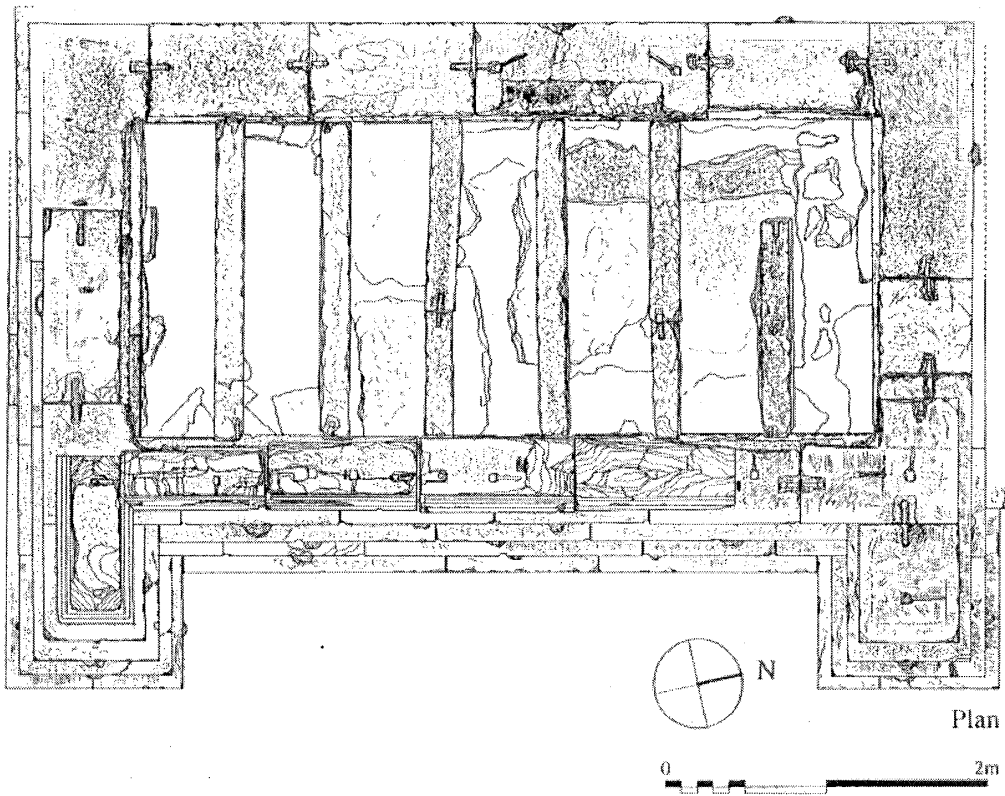


图1 墓廟 | 現状平面図

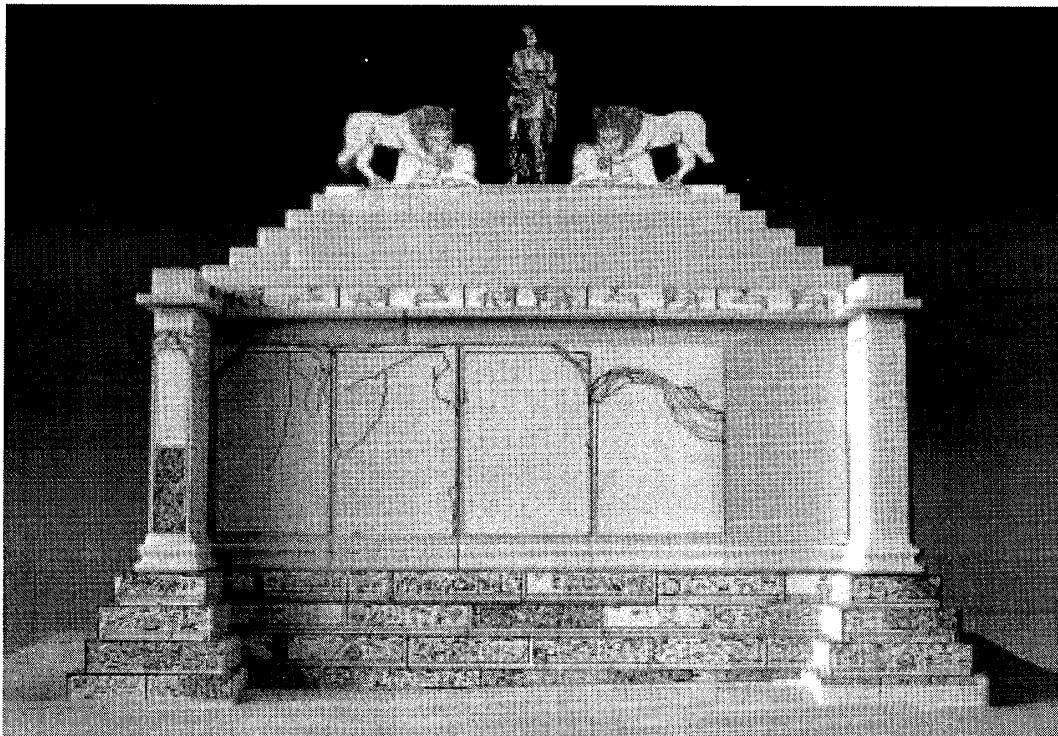


图2 墓廟 | 推定復元模型